名古屋商工会議所　国立大学法人 名古屋工業大学

企業×大学の技術が出会う 産学連携イノベーションプログラム【名工大編】



～大学の研究シーズと企業の技術をつなぎ、新たな連携の可能性を探る～

本イベントでは、大学の研究内容や企業の技術を知り、企業と大学の参加者が直接交流することで、共同研究や技術開発など、今後の連携につながるきっかけづくりを目指していきます。「大学と一緒に新しい技術を開発したい」、「自社の技術を研究に活かしたい」、「大学の研究者と対話してみたい」そんな企業の皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時　11月27日 (金)　14:00-18:00　(13:30～受付開始)

会場　名古屋工業大学　4号館　産学官連携交流スペース
名古屋市昭和区御器所町

※大学内の駐車場は利用できませんので、公共交通機関を利用してお越しください。

プログラム

●第1部　共同研究事例発表

「地球上で家に困る人々が快適で丈夫な家をもつあたりまえを実現するインスタントハウス」



名古屋工業大学　社会工学科　建築・デザイン分野教授
株式会社 LIFULL Archi Tech　代表取締役社長CEO
北川 啓介 先生

【登壇者紹介】
国内外での建築設計や建築教育の経験を経て、知財をもとにした未来志向の建築や都市を考案し、実用化した上で、名工大発ベンチャー株式会社 LIFULL Archi Techを起業し、事業化を推進。
建築構造物領域のプロフェッショナルであり、インスタントハウス技術の考案者。主な受賞歴に、日本建築学会賞（業績）などがある。



●第2部　研究シーズ プレゼンテーション

①「光で清潔・快適性が持続するスマート繊維」
物理工学科 応用物理分野　准教授　本田 光裕 先生

②「安全・防災に向けた紐伏センサー素子を活用した常態乖離検知技術」
電気・機械工学科 電気電子分野 教授　岸直希先生

③「背部と臀部への振動提示技術の事業化検証」
工学部情報工学科３年　鈴木唯我 氏

①～③の詳細、登壇者紹介は、裏面をご覧ください

●第3部　ラウンドテーブル

・研究者と参加者による小人数によるディスカッション

●第4部　ネットワーキング交流会

・名刺交換、個別相談、フリー交流会

定員　40名　　**参加費**　無料

申込方法　下記の申込フォームよりお申し込みください。
https://answer.cci.nagoya/mono/?code=8ec72980
申込期限：11月19日 (木)

名古屋商工会議所　産業振興部モノづくり・次世代産業グループ　担当：地引
TEL：052-223-8601　　mail：Jibiki@nagoya-cci.or .jp

研究シーズ詳細・登壇者紹介

「地球上で家に困る人々が快適で丈夫な家をもつあたりまえを実現するインスタントハウス」



名古屋工業大学　社会工学科　建築・デザイン分野 教授
株式会社 LIFULL Archi Tech 代表取締役社長CEO
北川 啓介 先生

【解決できる課題】
従来の建築の「重い・高価・長工期・専門技術が必要」という制約を覆し、軽量・低コスト・短工期で誰でも施工できる空間構築技術を提供。高い断熱性・居住性を備えた「インスタントハウス」による迅速な避難環境の整備に加え、廃棄衣服や食品廃棄物を建材に活用する技術により、資源循環と環境負荷低減を実現します。

【 連携したい企業・業界 】
- 建設・不動産・観光：グランピング、遊休地活用、ワーケーション拠点の展開
- 防災・自治体・インフラ：避難所・仮設住宅の迅速な配備、断熱空間の整備・備蓄
- 教育・官公庁・企業CSR：企業版ふるさと納税を活用した学校へのインスタントハウス展開
- アパレル・食品・環境リサイクル：廃棄繊維・食品残渣を活用した循環型・ゼロカーボン建材の開発

①「光で清潔・快適性が持続するスマート繊維」



名古屋工業大学　物理工学科 応用物理分野 准教授
本田 光裕 先生

「光でつくる、光をつかう」をテーマに、ナノ・原子レベルの構造制御に基づく新しい材料・光技術の研究を進めている。光触媒やナノ材料の設計、レーザーによる材料創製を通じて、光エネルギー変換やセンシング技術の高度化に取り組む。基礎科学に根ざした材料設計から、新たな産業や社会価値を生み出す次世代光技術の創出を目指している。

【解決できる課題】
これまで無機機能材料を固定することが難しかった天然繊維などの柔軟な有機素材に、低温プロセスで光触媒を強固に固定化する技術。光照射下で高い消臭・抗菌・抗ウイルスなどの機能を発現させ、繊維上で光触媒機能を長く維持できる素材を実現。

【連携したい企業・業界】
- 繊維・アパレル：作業服、寝具、マスク等の高機能化
- 医療・介護：院内感染・臭気対策
- モビリティ・内装：自動車シート・内装材の抗菌・消臭
- 化学・表面処理：有機材料への無機機能付与

②「安全・防災に向けた紐伏センサー素子を活用した常態乖離検知技術」



名古屋工業大学　電気・機械工学科　電気電子分野　教授
岸 直希 先生

【解決できる課題】
従来のセンサーでは捉えきれなかった奥深くの熱の異変を、数十メートルの柔らかい「紐状センサー」を張り巡らせることでキャッチ。火災や設備の故障を未然に防ぎます。

【連携したい企業・業界】
- バッテリー・EV・新エネルギー：蓄電池等の熱暴走検知
- インフラ・プラント・電力：送電線・発電設備・サイロ等の火災予防
- データセンター・情報通信：機器・配線の過熱監視
- 物流・倉庫・防災：広範囲・死角の火元早期検知

③「背部と臀部への振動提示技術の事業化検証」



名古屋工業大学　工学部情報工学科３年
鈴木唯我 氏

名古屋工業大学に在学し、背部・臀部への振動提示を用いた触覚技術の研究開発と事業化に取り組んでいる。
映像や音に応じた振動の配分制御により、身体を通じた新たな体験価値の創出を目指している。
企業の課題やニーズを起点に幅広い用途を探索し、共同開発や社会実装につながる連携を模索している。

【想定する課題・活用場面】
映像・音響だけでは伝えきれない衝撃や動きを体験者にも感じてもらいたい、既存の設備に新たな演出を加えたい、といったニーズを想定しています。
特定のコンテンツや施設に用途を限定せず、企業の製品・サービスに応じた触覚演出の活用可能性を検討しています。

【連携したい企業・業界】
- 映像・音響・コンテンツ関連：触覚を活用した新たな表現・演出
- イベント・展示・体験空間関連：臨場感や体験価値の向上
- 座席・クッション・体験設備関連：既存設備への触覚機能の導入